

謹告

関係者各位

元 N-Point 企画広報
零阪 麻琴

N-Point が発出した記事等について

平素は皆様にご高配を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、令和 3 年 5 月 7 日に N-Point より発出された「今回の騒動に関する経緯のご説明・その対応について」(<https://npjp.net/2021/05/07/eol/>) という記事や、N-Point 代表の中込椋氏に関わる Twitter 上でのやりとりにつきまして、いくつか当方においての見解や「常識」と相違する点がございましたため、お知らせ致します。また、このような誤解を招く記事への反論が遅れてしまいましたことをこの場でお詫び申し上げます。

N-Point に現段階で所属し、常日頃仲良くしてくださっている方々、この度はこのような文書を出すことになってしまい、申し訳ありません。この文書は皆さんを糾弾するものではありません。もしなにか反論などございましたらあなたの知っている手段にて私にご連絡下さい。

まず、団体の活動終了についての話し合いをなぜ対立相手と行わなかったのかが疑問です。対立相手との話し合い次第では対立を解消する可能性もあったのに、それを捨てた合理的な理由がどこにも示されていません。

次に、中込椋氏は class-N とは「ライバー」として契約してライバーマネジメント規約の下活動をしていました。ですので、機密保持部分のスクリーンショットの漏洩によって処分を受けるのは妥当なことであります。さらに言えば、なぜスクリーンショットを共有しているのか、そこで話し合いに持っていかなかったのかがわかりません。また、classn.jp の停止については唐突なものであり、更に誤解を生じさせるだけでなくそれを助長するような言動が Twitter 上で見られました。私は常日頃 EXR-Network というゲームサーバーにて配信を行っております。そのゲームサーバーの関係者の方（「A 氏」とします。）が中込椋氏の除名処分の正当性への不信感を顕にしておりました。この時点でもサイト停止により誤った見解が広まり、EXR-Network での配信停止処分が制裁として下される可能性が考えられる状態になっただけでなく、中込椋氏がそのツイートへ反応し、あたかも自らが被害者だと言いはる主張をし、A 氏がそれを理解している返信を行いました。

2021 年 7 月 17 日 13 時 6 分現在、この一連のやりとりについて撤回等の言動は確認されていません。

記事文末の「弊団体及び弊団体のメンバー及び関係者に対して大きな精神的苦痛を与えさせ、共に信用協力しあって活動してきた団体を分裂させるような状況に追い込んだことに関して、当事者に対し強く抗議の意思を表明いたします。」という部分に関しては多くの方の誤解を招く危険性が高く、強く懸念を表明しています。中込氏は現在公にニコニコ動画を根拠なく貶したりするなど、にぐとめあれ氏を周囲もろとも攻撃するような言動を行っており、にぐとめあれ氏との関係を良好にする努力が見られませんでした。そして文中に「大きな精神的苦痛を与えさせ」とありますが、理由根拠なき中傷により大きな精神的苦痛を受けたのはこちらです。よって零阪麻琴としては今回の解散は分裂ではなく、**中込諒氏が団体の体質を改善する努力もせず、行き詰まった結果起こした権力掌握のための自己クレーダーである可能性が払拭できないという結論に至っております。**これは、記事前半の解散経緯にある「当事者であるにぐとめあれを除く N-Point 共同代表である主犯、染宮ねいろ 2 名の協議により、N-Point としてこれ以上活動を継続していくことが困難であると判断し、活動の終了を決定いたしました。」ということからも判断が可能です。

今回の解散において裏切られた方は私のみではないと思っております。数年間の活動による団結はなんだったのか、信頼はなんだったのか。実際、解散以後私はもう初めてお見かけして興味を引かれない方は「嫌い」から入るようになりました。人間のありかたをこうも変えるようなことを中込氏が行ったことを、ご理解くださると幸いです。

以上